健康園芸

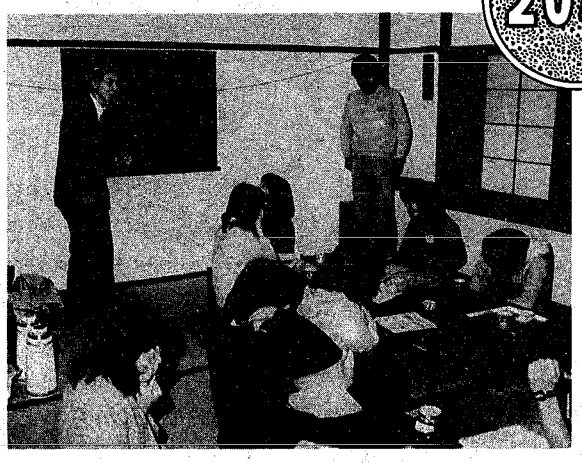
シクラメンの鉢花

師走も半ば、本格的な寒さを迎えています。屋外は雪囲いの樹木だけで殺風景な冬の姿ですが、室内は鉢花などで、何かと飾りたい気持ちになります。いろいろの鉢花が、そして切り花が出廻ってきます。なかでもシクラメンは鉢花の王座とされ、五号～七号鉢くらいが店先に見られます。大様ほど見事ですが、価格もはずみます。求めたらできるだけ良い花を長く見たいものです。まず日光不足にならないように、冬期間は陽光が極めて少ない時ですから、昼間はつとめて窓辺の明るいところで管理します。軟弱徒長気味では抵抗力も弱まり、良い花も期待できません。温度はご低温は無論さけねばなりませんが、最低五度くらいを保てばよく、むしろ暖房の効き過ぎたところ、二〇度以上になったら注意が必要。さらに室内の光不足が加わると、株、蕾ともに正常に育ちません。一〇～一五度くらいを目安に育てます。豪華な鉢花であり、どこに置いても見ごたえのあるものですから、長く楽しみましょう。

ご相談は　園芸センター（☎86―1034）へ。月曜日は休園です。（月曜が祝日のときは火曜日休園）

頑張ってます！

20歳「成人の日のつどい」実行委員会



大張り切りの実行委員たち（市青年の家で）

一生に一度、だれもが経験してきた成人式。来年一月十五日、市体育館で行われる「成人の日のつどい」を自分たちの手で企画・準備しようと、成人の日のつどい実行委員会のメンバーは、今、大わらわです。

同実行委員会のメンバーは、一般公募や推薦などで参加した張り切り青年二十八人。十一月から週一回会合を持ち、活発に意見を出し合っています。これまで六回の会合を開き、スライド上演、コンサート、楽しいゲームなどを行うことが決定しました。

「会を重ねることに意見も活発に出るようになり、だんだん自信がわいてきました。実行委員長に選ばれた以上は、参加した人が喜んでくれるように頑張ります」（実行委員長、山岸賢一君）。

「自分たちの手でやってよかったと思えるようなものにしたい。この活動を通じて、いろんな人と接することが出来て勉強になります」（新大生、川合千尋君）。

「成人式は人生の記念にもなるし……。来てくれた人の立場になり考えてやっていきたい。新潟の人はせかせかしていなくていいですね」と話すのは埼玉出身の新大生福島佳克君。

約五千八百人の新成人の前に立つ「成人の日のつどい」とあって、大張り切りです。

ともあれ、本格的な準備はこれから――。若者らしいフレッシュな企画にしてもらいたいものです。

岩倉さんの味自慢

しょうが風味ののっぺ

自慢の味を手に―。岩倉さん

師走も半ば、おせち料理が婦人雑誌を飾るころです。雑誌ではなかなかお目にかかれない郷土料理「のっぺ」と「きりぼし」「柿の味噌づけ」を信濃町の岩倉喜江さんに紹介してもらいました。

……のっぺは地方や家ごとにみんな違うんですけど、うちのは干した貝柱をだしに使うんです。材料はさいもを主にしいたけ、にんじん、ごぼう、とり肉、かまぼこ、たけのこ、こんにゃく、きぬさや、いくら、貝柱。こんにゃくとさといもは下ゆでしておきます。こんぶ、しいたけ、貝柱のだしに、かつおぶしのだしも少し加え、短冊に切った材料を一度に入れて、にんじんが煮えたら出来上がり。味付けはしょうゆ、酒、甘味にみりんか砂糖。うちではしょうがを入れて風味をきかせます。材料がそろっていれば煮るのは十分から二十分。簡単にできます。

うちの冬の味覚は「きりぼし」です。娘たちから「送って」と催促が来たり、「これを目あてに遊びに来るのよ」って友だちが遊びに来たり、うれしいことです。材料はきりぼし大根、こんぶ、数の子、スルメ貝柱。しょう油二に対し酒とみりんが一ずつ合わせたものにつけ込みます。

もう一品は「柿の味噌づけ」。さわし柿、富有柿何でもいいのですが、皮をむいて半分に切り、味噌二、酒一の中に一晩ほどつけ込むと出来あがり。お酒のつまみなんかにいいですよ。

岩倉さんは料理グループあやめ会の会長さん。会員の皆さんと味の交流をするのが楽しみとか。

木版画に挑戦

年賀状講習会

「どんな図案がいいかしら……」

今年も十五日から、郵便局の年賀状受け付けが始まります。年賀状書きで大わらわの人も多いのでは――。

石山地区公民館では「年賀状を木版画で作ろう」と、十一月二十二日から今月九日まで年賀状講習会を開きました。講師の指導の下で、来年の干支のネズミ、自画像、新築した自宅――など思い思いの作品に真剣に取り組んでいました。

「木版画は下絵（図案）と刷りが勘所。水性絵の具を使う場合、あらかじめはがきに水をつけ、半日机の上に置いて、生乾きの状態で刷ると、絵の具がはがきによくなじむ（講師の佐合敦さん）とか。参加した坂井常蔵さん（石山一）は「今年は年賀状を二百枚刷ります。以前は印刷していましたが、去年、ゴム版の年賀状を出したら好評だったもんで、今年は木版に挑戦します。来年は二色刷りか三色刷りでやりたいですね。子供たちも私の影響で、木版画を始めました。手作りの喜びを子供たちに伝えるには、格好のものですね」と話していました。

この木版画による年賀状は、今月中旬から二週間、西堀前六の喫茶アテックで展示される予定です。

"恵まれない人たちへ"

みかんを寄贈

新潟青果協会
新まる果グループ

「恵まれない人たちにみかんを」―。新潟青果協会（高橋静雄会長）では、先月二十九日、福祉施設のために役立ててほしいとみかん百箱を市に寄贈しました。

同協会では毎年この時期に寄贈を行っているもので、既に恒例化した善意の寄付。市長室を訪れた高橋会長から岩杉市長に目録が手渡されました。

市では、みずほ園、もぐらの家、有明園、白山作業所など三十八カ所の福祉施設に配分しました。

また、十二月一日には、まる果青果市場（大野勝太郎会長）と同グループの商業協同、仲卸「下越商業の三組合も福祉施設に贈って下さい」と、みかん百二十箱を市に寄贈しました。

同グループも毎年この時期にみかんを贈っています。

市では、このみかんも市内の福祉施設に配分しました。

劇団風の子の「2＋3」

日時　12月18日午後3時～
会場　曽野木小学校体育館
参加費　1人700円（4歳以上）
問い合わせ　渡辺（☎80―2566）へ
※チケットは、曽野木ストアー（曽野木団地）、神田クリーニング店（天野）、ヤマザキ・ショップ西川店（天野）で、取り扱っています。

クリスマスこども大会

日時　12月18日午前10時～、午後1時半～（2回）
会場　市公会堂
内容　バトンガール大行進、ゲーム大会、まんが映画「燃えよアーサー」、のど自慢、サンタの抽選会、全員におみやげ
問い合わせ　中川（新潟日報事業部内、☎29―2211）へ。※整理券は新潟日報新潟事務所（東中通2）、同新聞販売店でお受け取り下さい。

ケーキに挑戦！ 冬休みこども料理教室

日時　12月26日午前10時～
会場　西地区公民館　**参加費**　500円
献立　レアーチーズケーキ、ホイルケーキ
定員　小学校5・6年生30人（先着順）
持参品　エプロン、三角きん
申し込み　電話で会場（☎61―0031）へ

親子料理講習会

デコレーションケーキ
日時　12月17日午後1時半～3時半
会場　中地区公民館
対象　中地区在住の親子16組（先着順、子供は中学生まで）
材料費　1組1,000円
申し込み　12月15日までに電話で会場（☎71―0017）へ

お正月の生け花講習会

日時　12月21日午後1時半～3時半
会場　曽野木公民館（☎80―6810）
定員　30人（先着順）
経費　1,700円程度
持参品　はさみ、花器、剣山、ピニールふろしき
申し込み　電話で会場へ。

ガスの安全使用と料理教室

期間　1月中旬～3月下旬（各10回）
会場　北陸ガス古町サービスセンター
参加費　1コース5,000円（材料費含む）
申し込み　電話で会場（☎23―0495）へ

曜日	コース	時間	定員
月	パンとサラダとお菓子	午前10時～午後2時	各20人
火	すばやく出来る家庭料理		
金	電子レンジとオーブン料理		
土	おもてなし料理	午後2時～5時	

「少年ジャックと魔法使い」

少年少女映写会〈入場無料〉
日時　12月27日午後1時半～3時
会場　音楽文化会館
対象　児童、生徒とその引率者
申し込み　12月16日（当日消印有効）までに①往復はがきの往信用に住所、氏名、電話番号、参加人数、②返信用にあて名を明記し市立視聴覚センター（〒951 西大畑町458―1）へ

夜の読書会

つか こうへい著「蒲田行進曲」（角川文庫）
中学生以上の方、どなたでもどうぞ！
日時　12月12日午後6時～8時
会場　沼垂図書館（東総合庁舎2階☎41―4111）